

第3回「南インドを識る」セミナー

主催：「アジアにおける関わりの多様化に対応した市民研究プログラムの構築」プロジェクト
(トヨタ財団 イニシアティブプログラム 助成プロジェクト)
共催：南山大学人類学研究所

今回は全3回のセミナーのうちの文化篇として開催します。

講演 移りゆく文化と社会

——タミルナードゥ州におけるキリスト教徒の現在から——

講師：アントニサーミ・サガヤラージ

(南山大学人文学部人類文化学科准教授)

講師プロフィール：南インド、タミル・ナードゥ州生まれ。1997年から、南インドの社会的変化の重要な要素となっている民族運動、エスノナショナリズム、ヒンドゥーナショナリズム、カースト問題、ジェンダー問題などをキリスト教が与えた影響を中心に研究。現在は特にキリスト教内におけるカースト問題、災害と再生に関心を持っている。社会活動として、インドで学校建設に携わる学生のボランティア活動も行っている。

日時 —— 2016年6月25日(土) 15:00~17:30

場所 —— 南山大学 名古屋キャンパス R棟-R31

アクセス —— 地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩 歩約8分

<http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>

<http://www.nanzan-u.ac.jp/CMAP/nagova/campus-nago.html>

参加方法 —— お名前・ご所属・ご連絡先を下記アドレスへお送りください。

※ どなたでもご参加いただけます。

連絡先 —— アジア農村研究会*注 藤田高成 anoukai2016@gmail.com



*注 アジア農村研究会は、アジアをフィールドとして活動する地域学研究会です。

詳細はウェブをご覧ください。

<http://anoukai.wix.com/home>

